

を走ったのです。長い距離も初だったのですが大雨の中走るというのも初めてで、「この中を走るの!？」と驚きました。でも誰一人と脱落することなく、文句を言うでもなくみんなで最期まで走りきりました。初めての長距離17キロを走れるようになった自分、一緒に頑張った仲間、そして走らず見守るほうが大変にも関わらず雨の中の給水やサポートして下さった方々、チーム全員に感動しました。

これら、いずれも未知の世界を体験する瞬間、苦しい時いつも一緒に走れる仲間がいることに幸せを感じるようになりました。一人では途中挫折しそうになるけれど、仲間がいてくれるお陰で苦しさが楽しさに変わっていく瞬間でもありました。

こうして、夢であったホノルルマラソン42.195キロも楽しく完走できました。未知の世界をひとつひとつ仲間と一緒に体験でき本当に楽しくて充実感一杯でなりません。ホノルルマラソン教室で出会えた沢山の仲間、皆様に感謝しております。

本当にマラソンに出会って日々が楽しくなりました。10年先、20年先も走り続けられたらと思っています。

出逢えて良かった♪『ホノルルマラソンを目指そう!!びわスポランニング教室』

西島 加寿子

今、私は『マラソン』という掛け替えのないスポーツと出逢えた事で、とても充実感溢れる生き生きとした生活を送っています。

そんな『マラソン』の楽しさを教えてくれたのが、びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ開発・支援センターが開講した『ホノルルマラソンを目指そう!びわスポランニング教室』という初心者ランナー対象の講座でした。

私は、第4期(2011年)と第5期(2012年)の2年連続でこの講座を受講しています。

「なんで2年も連続で同じ講座を受講したの？」と不思議に思われるかもしれませんが、しかしその答えは、この講座を受講したらすぐに分かります。

次の講座の日が待ち遠しくて、待ち遠しくて、楽しみで仕方がないからです。

この講座に出逢う前の私は、『マラソンなんて孤独なスポーツ』、『マラソンってしんどくて辛いだけ!』、そんな風に思っていました。でも全12回の課程を1回目、2回目と受講していくうちに、『マラソン』に対する私の意識が確実に変化していきました。

開講日初日で走った4kmマラソンのしんどかった事。この頃の私は、『やっぱりマラソンってしんどい!本当に走れるようになるの?』、そんな気持ちでいっぱいでした。そして、4回目講座の『ランニングペースを実感』あたりからは、徐々に走る距離も長くなっていき、強度も高まっていきました。この頃から講座と一緒に受講している仲間との絆も深まっていったような気がします。8回目講座の『レースペースで走る』では、びわスポ大学生のサポートを受けながら、初めて10kmを完走する事が出来ました。とても苦しくて辛かったけれど、何とも言えない達成感と心地良い気分を味わう事が出来ました。そして、もっと速く走れるようになりたい!という気持ちも芽生えてきました。11回目講座の『長い時間ゆっくり走る』、私にとってこの第11回目の講座は、全課程の中でも一番思い深いものとなりました。

それは忘れもしない、寒さと大雨降る中でのずぶ濡れロング走!「今までで一番長い距離を走るんでしょう?」、「こんな悪天候でも走るの?」、「ごみ袋カップ?」、こんな不安を抱きながら走り始めたのですが、直ぐにごみ袋カップの偉大さに気付かされる事となりました。軽い、雨を通さない、身体が暖かい。感動です!

こんなごみ袋カップの知識もこの講座を受講していなかったら知らないでいたのだろうか~

そんな事を思いながらも、今まで走った事のない長距離と、大雨のビショビショ状態で、少し心が折れそうになっていました。でも何とか走り続けられたのは、この講座と一緒に受講してきた仲間と「あと少しだ!!頑張ろう」って声を掛け合えたこと、サポート隊として参加してくれたびわスポ大学生の声援や講師の指導があったからだと思います。

そして開講日初日は、4km走るのが精一杯だった私ですが、この過酷な状況でのロング走を仲間と一緒に完走する事が出来た時、本当に感動で涙が出そうになりました。『ホノルルマラソンを目指そう!びわスポランニング教室』、この講座で私は、『マラソン』の楽しさだけでなく、素敵な仲間とも知り合う事が出来ました。

そしてこれからも、走れる喜びに感謝しながら、マラソンLifeを楽しんでいきたいと思っています。

